

第8分科会 指導・育成 「リーダー育成」 運営概要

【研究課題】

「これからの学校を担うリーダーの育成と校長の在り方」

分科会研究協議の運営計画

社会が急激に変化する中、知識基盤社会の進展、グローバル化など、高度化・複雑化する課題への対応が求められ、学校教育における課題も多様化・深刻化している。このような中、学校においては、教職員一人一人の力量を高め、学校組織としての教育力を高め、子どもたちに生きる力を確実に育むことが、学校経営の最重要課題となっている。

学校における組織力向上のためには、校長のリーダーシップの下、中核的役割を果たすミドルリーダーの存在が不可欠である。しかしながら、各学校とも、ミドルリーダーとなり得る年齢層の教員が、絶対的に少ないという現実がある。

学校にとって、今後の学校運営を担うミドルリーダーの育成は喫緊の課題である。ミドルリーダー育成に向けては、学校組織として、意図的・計画的に研修を行い、学校運営への参画意識の醸成と具体的な仕事内容の理解を進めていく必要がある。

また、ミドルリーダーには、若手教員の育成及び、組織運営の活性化を図る役割も求められている。ミドルリーダー育成については、教育活動全体を見渡せる広い見識と実践的指導力や教職員同士及び教職員と管理職をつなぐ調整力を育成することが重要である。さらに、教科指導や学級経営、生徒指導等を組織的に展開する企画力・調整力が求められる。こうした人材の意図的・計画的育成が重要となる。

本分科会では、教職員の資質・指導力の向上を図り、展望や参画意識をもたせ、学校の教育力を向上させる研究・研修体制の確立と学校の中核を担うミドルリーダーや次代の学校経営を委ねる管理職人材を、校長として学校現場において育成していくための具体的方策と成果を明らかにする。

視点 1 学校教育への確かな展望をもち、実践力と応用力を兼ね備えたミドルリーダーの育成

- ・ミドルリーダーに求められる資質・能力を引き出し、その育成に向けた学校づくりの推進
- ・ミドルリーダー育成に向けた人材発掘及び組織的・計画的な育成への取組

視点 2 時代の潮流を見つめ、豊かな人間性を身に付けた管理職人材の育成

- ・管理職としての資質・能力の向上を図る具体的方策

昨年度までの成果・課題（～平成29年度 全連小 佐賀大会より～）

【成果】

- (1) 校長が、人選を行い意図的に職務のポジションを与え、適切な指導や助言を与えることで、ミドルリーダーとしての自覚を高め、必要な資質を身に付けさせることができた。
- (2) 教育委員会との連携の下、校長会を通して全市的に取り組むことで、市という大きな単位で次代の教育を担うリーダーの育成をしていくことの大切さについて共通認識を持つことができた。
- (3) リーダーシップやマネジメント力を育成するために身に付けさせたい力を明確にして、実践を行うことで職員全体のリーダーとしての自覚を高め、主体的・協働的な職員集団をつくることができた。

【課題】

- (1) ミドルリーダーや管理職人材を育成していくためには、「面談の活用」が重要である。そのためには、校長がよりきめ細やかな面談を通して、人材を見極めたり、管理職の魅力について伝えたりしていくことを常に意識しておく必要がある。
- (2) ミドルリーダーへの過重負担をどのように回避するか、育成のための時間や機会をどのように確保していくかについては、今後も教育委員会と連携して全市的に検討していく必要がある。
- (3) 校長が、率先垂範を通して、リーダーとしての心構えや態度を具現化していくことが、ミドルリーダーや管理職人材育成の鍵となる事を自覚する必要がある。

研究発表の概要

【視点1】学校教育への確かな展望をもち、実践力と応用力を兼ね備えたミドルリーダーの育成

研究発表者 三重県松阪市立粥見小学校 山本 哲司

発表の趣旨 市の教育ビジョンをもとに実践力と応用力兼ね備えたミドルリーダーを、年齢に関係なく、「自らの取組や実践を通して、周りを巻き込んで学校の教育目標の達成に進むことができる教員」とし、学校の規模に応じた人材育成を実践研究した。

【視点2】時代の潮流を見つめ、豊かな人間性を身に付けた管理職人材の育成

研究発表者 北海道渡島管内知内町立涌元小学校 三上 幸喜

発表の趣旨 渡島管内全小学校で、教員の経験年数に応じた育成すべき力を調査・実践し、渡島小中校長会が「チーム渡島」としてミドルリーダーや管理職人材の意図的・計画的な育成に向けた具体的な方策を明らかにする。

協議の流れ

1. 開会	13:00	6. (1)研究協議	14:40
2. 趣旨説明	13:10	(2)全体協議	15:40
3. 研究発表1・2	13:20	7. 研究協議のまとめと今後の課題	16:20
4. 質疑応答	14:00	8. 閉会	16:30
5. 休憩	14:30		

討議の柱

【研究の視点1】

・学校教育への確かな展望をもち、実践力と応用力を兼ね備えたミドルリーダーの育成

討議の柱（視点1）

実践力と応用力を兼ね備えたミドルリーダー育成のための取組と校長の指導性

キーワード

限られた人材 年次研修とのかかわり 面談の活用 不均衡な年齢構成
業務の多忙化 モチベーションを高める 意識改革を図る研修内容の工夫
教職員と管理職間をつなぐ調整力 校長会と教育委員会とのビジョンの共有

【研究の視点(2)】

・時代の潮流を見つめ、豊かな人間性を身に付けた管理職人材の育成

討議の柱（視点2）

キャリアステージに応じた育成すべき力の分析と管理職人材育成への校長の関わり

キーワード

魅力ある管理職像 校長会による研修会 意図的・計画的な人材育成
教育委員会のバックアップ 管理職へのキャリアデザイン 教頭の休職者
管理職の処遇改善 管理職受験率の低下 「チーム校長会」で育てる意識の共有

お願い

参会者の皆様へ 5～6人のグループに分かれます。名刺をご持参ください。

グループ討議の司会・記録につきましては、後日、北海道小学校長会ホームページに分科会参加者名簿（座席表）を掲載しますのでご確認ください。